

## 社会福祉法人・施設次世代役職員（リーダー）育成支援事業

### 現状と課題

- 社会福祉法人・施設においては、その次の世代を担う中堅職員や後継者についても人材不足は深刻であり、育成がすすんでいない状況がいられています。
- この問題について、本会社会福祉法人協議会においては、潜在的な問題や悩みを会話の中で聞くことはありましたが、会議の場で具体的に話題に上ってきませんでした。
- 同協議会の青年経営者会では、次代を担う役職員同士が顔の見える関係で学び、交流し合う場の必要性は語られており、一時的・一律の研修だけではなく機会の必要であることは考えられていました。
- 次の世代を担う中堅職員や後継者に対しては、施設のトップマネジメントを担うための意識・知識等の醸成を図り、法人・施設に対しては、職員のキャリアアップのための仕組みの構築の支援を行う必要があります。

### 事業のねらい

- (1) 社会福祉法人・施設の次世代を担う中堅職員や後継者の問題に関して、その課題を浮き彫りにします。
- (2) 次世代を担う中堅職員や後継者の資質を高め、職員間の連携を深めます。
- (3) 社会福祉法人・施設の安定した経営を支援します。

### 実施すべき具体的な事業

#### ◆「次世代を担う中堅職員や後継者の問題を検討するプロジェクト」の設置

- (1) 「次世代役職員（リーダー）育成に関する」実態調査の実施・分析・提言

#### ◆施設職員交流制度の創設、実施・管理運営

- (1) 次世代を担う中堅職員や後継者の施設間交流制度の検討
- (2) 平成24年度からの本格実施に向けた準備

※上記の実施のために、福祉人材確保ネットワーク事業を参考とします。

#### ◆次世代役職員（リーダー）集団の発足等

- (1) 次世代を担う中堅職員や後継者の職員集団を募集、結成
- (2) トップマネジメント研修や人事労務研修、人材育成研修等の施設経営者

育成研修や次の時代を見据えた新しい社会福祉戦略の調査研究、提言等を行う職員集団について一定期間を定めて育成します。



年次計画

22年度	23年度	24年度
(調査は21年度に実施) ○施設職員交流制度検討 ・検討委員会設置	○施設交流制度準備 ・検討委員会 ・実施要綱配布(12月) ・説明会(12月) ・マッチング(1~3月)	○施設職員交流制度実施 ・検討委員会 ・実施要綱配布(12月) ・説明会(12月) ・マッチング(1~3月)
○次世代役職員 (リーダー) 集団の育成 ・カリキュラム検討委員会	○試行実施 [第1期] ・カリキュラム検討委員会 ・実施要綱配布(4月) ・開講(6~2月) ・報告会(3月)	○本格実施 [第2期] ・カリキュラム検討委員会 ・実施要綱配布(4月) ・開講(6~2月) ・報告会(3月)

I  
 社会的に広く取組  
 る課題への対応  
 る課題への対応

II  
 福祉人材の定着・  
 育成の取組み

III  
 地域における諸課  
 題への対応

IV  
 都民の福祉参加と  
 理解の促進

V  
 部会及び連絡会活  
 動の充実と強化

事業の概況

図1 ●施設職員交流制度



図2 ●次世代役職員(リーダー)集団の育成

